

0. 報告日：2012年 8月 18日 (金)		
1.参加期間と場所：2012年7月30日 (月)～8月4日 (土)、大韓民国・釜山大学		
2.申請者と所属チーム (10.5pt、日本語：MS 明朝、数字英字：Times new roman)		
資料作成者	(所属、学年) 大分大学大学院工学研究科 建設工学専攻博士前期課程1年 (氏名) 青柳 直希	所属チーム (所属チーム名称) C1_JO5 (構成員氏名、大学、学年) ※自身を含む全員 Naoki AOYAGI、大分大学、M1 Shinji HATANAKA、大分大学、M1 Kazuki MIYOSHI、九州大学、M1
3.感想と今後の抱負 (日本語で記述 MS 明朝 10.5pt)		
<p>今回のワークショップは短い期間で他大学の学生とチームを組んで作品を制作すること、また運営に関することや発表、レクチャー、先生方からのアドバイス等全て英語でのやり取りという点で大変苦勞した。作品制作に関しては、初対面の学生と一緒に設計をするという機会は今までなかったので、初めは不安であった。しかし、意思疎通の方法が英語という環境下では、日本語で議論できるという安心感があり、日本よりもスムーズな交友関係を築くことが出来たと思う。それにより、短期間での設計ではあったが、メンバー3人の意見が反映された作品に仕上がった。グループ内での意見交換では、同じ東アジアではあるが、テーマに対するそれぞれの国で考え方が異なり、日本の学生同士で設計しているだけでは得られない経験をすることができた。また、海外の方から自分の考え方にアドバイスを頂くことも初めてであり、大変参考になった。海外の学生との交流に関しては、中国、韓国学生の英語力に圧倒されつつも、身振り手振り、またわからない単語はその場で調べる等して、コミュニケーションを図ることができた。特に形式的な英語だけでなく、口語的な英語に関して沢山学ぶことが出来た。これは直接海外に行って英語で実際に会話することでしかなかなか学ぶことがないと思う。今後の抱負としては、やはり英語力をもっと身に付けることである。今回のレクチャーも全て理解することができず。また述べたいことが明確に伝えることができなかつたからである。そのためには短期的な英語の学習ではなく、常に英語に触れていかなければいけないと感じた。また限られた時間のなかで作品を完成させるためには3DCAD等の技術向上、作業速度のアップも必要だと感じた。</p>		
4. 提案作品 (日本語で記述 MS 明朝 10.5pt、タイトルは英語：Times new roman 12pt Bold)		
タイトル	In to the valley	概要 対象敷地のミルキーバレーは、豊かな自然が保全されているが、その中に人々が入ることは少ない。そこで私たちは現在橋が存在する場所にフォリーを作ることで、人々の流れを敷地内に広げる計画を行う。また Tao という概念を自然と調和することと考える。手法は、二枚のスラブを陰と陽と定義し、切り込みを入れ、双方を交合わせる。結果、新たな空間を創出し、自然を感じながら様々な行為が生まれる場所となる。

5. 提案作品のパネル (拡張メタファイル等で貼付け、横置き作品は本紙左側を作品上部)

In to the valley

2012 East Asian Architecture & Urban Design Workshop
 Group-C1

1.Site Analysis & Problem

About surround of PNU

Mountain
 PNU
 boundary
 Urban area
 Many citizens come to PNU

PNU is part of mountain retain many nature

PNU is part of urban area many citizen come

About surround of Mirinae Valley

Look at
 Look at

view line of outside
 many people pass along Mirinae Valley and cross the bridge. So, they often look at there.

view line of inside
 opportunity of entry is almost nothing and thing that look Mirinae Valley from the interior of there.

Now, there are many nature But people cannot feel nature enough

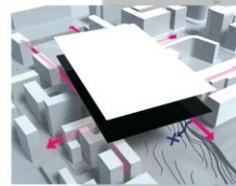
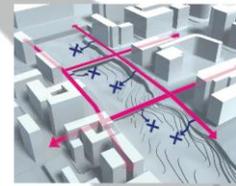
Now

if people move
 Guard of library use
 There is no people's tread area
 without cross bridge
 People that cannot move around
 There is much people's tread area

after our plan

Call of library use
 protect nature
 have people stay
 Call of library use
 Call of library use
 People stream spread
 our plan's site is this area

4. Form's control



2. Concept

東道 = eastern spirit
 Tea room, Pavilion → harmonize with nature
 Eastern spirit means harmonize with nature.

西器 = folly
 The meaning of folly is stable in west
 ⇒ The meaning will be indeterminable

we create the place of recreation and relaxation where people can come into contact with nature freely.

Nature

meal play talk

appear various action in rich nature

relax read books

3. Design concept

Design by Taoism ... use two slabs

the two mind harmonizes!

Yang

Yin

Not exist single Best is combine

Yang slab

Yin slab

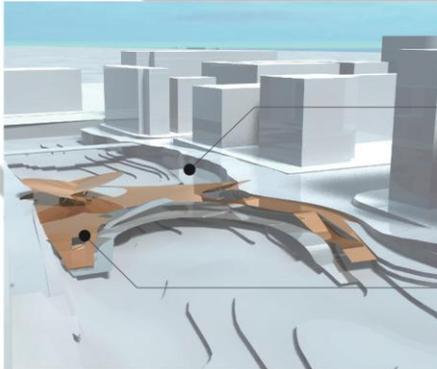
combine

Yang slab

Yin slab

5. Perspective

whole



scene 1



scene 2

